

## 図書館は、知の源泉



西澤 茂

高大連携担当副学長  
経済学部 経営学科 教授

Nishizawa,  
Shigeru

わたしが大学院を卒業したのは、ちょうど30年前。わたしの指導教官の世代は、終戦直後で、留学は国費でしかできなかった時代。海外の図書館で、貴重な資料を写本して帰国し、その資料が日本の学問を飛躍的に発展させた時代でした。その時代を経由して、わたしが大学院生だった頃には、既に日本の大学には海外の貴重な文献は所蔵されるようになっていました。大学の図書館に行けば、直ちに文献を読むことはできましたが、重要な部分にアンダーラインや書き込みをするには本をコピーする必要があり、1枚10円のコピー代をなるべく節約するため、どの部分をコピーして勉強するか悩んでいた自分を思い出します。

その後、わたしが教員として上智大学に赴任したのが、1998年。企業関連の会計・財務データを集めて自分の研究を進めようとしたところ、本学図書館には、その貴重なデータである有価証券報告書は、所蔵されていませんでした。当時、有価証券報告書は、1年分の1社のデータが、1,500円前後で販売されていた時代。自分で購入すると、数社レベルのデータを集めるだけでかなりの金額になってしまいました。そのため、そのデータを国立国会図書館まで出向いて収集しなければならず、非常に多くの手間がかかり、自分の研究を継続することは可能かと悩んでいたことをつい昨日のことに覚えています。

しかし、その悩みも数年で解消。インターネットの普及で、オンライン上で金融庁が開設したEDINETというサイトにアクセスすれば、全ての上場企業のデータが無料で閲覧できるようになり、情報収集の心配は一気に解消されました。この時こそ、時代の大きな進化を実感できたことはなかったような気が

します。また、当時、米国ヴァージニア大学に留学する機会も頂けました。現地では、ビジネススクール、ロースクール、スクールオブコマースの3セクションに所属することができました。その留学時は、様々な企業情報がデータベース化された有料のアプリケーションが出始めたころで、そのデータベースの使い勝手が非常に良いことに驚いたことを思い出します。たとえば、そのアプリを使用すれば、特定の企業の過去数十年のデータの比較や、海外のライバル企業との比較分析も容易に出来るようになりました。今では、上智大学の図書館でも、様々なデータベースの有料アプリケーションが使用可能な状態であり、グローバル企業の分析が容易な環境が整っています。

わたしが大学教員として過ごしてきた僅か30年間の間にも、これだけの飛躍的な進歩があります。しかし、その進歩はまだまだ無限の可能性があるようです。先日、ある企業から仮想空間に「バーチャル図書館」を開発したことを紹介され、リアルとバーチャルの双方の利点を生かした図書館サービスのデモンストレーションを体験することができました。その図書館のなかで、どのような新たなサービスが提供されるのか、まだ、十分にはイメージは沸きませんが、革新的な新たなサービスが提供され、それが新たな研究アプローチを生み出し、その成果が社会の様々な問題解決に役立つこと、本当に楽しみです。

図書館は、知の源泉。図書館サービスの進化が、教育・研究を飛躍的に発展させ、それが社会の持続可能な成長に貢献していることを感じます。

5年後、10年後の新たな図書館の姿が今から楽しみです。



# 教えて!

# ソフィアンくん

## 第19回



毎日たくさんの方が図書館に来てくれるけれど、一体どんなふうに図書館を利用しているんだろう。今回はそんな疑問に在校生のみんなが答えてくれたよ。ぜひ参考にしてみてね!

## 絶対に活用したい図書館のサービス6選

本を借りるだけではもったいない! 図書館には、あなたの毎日をもっと充実させるリソースがたくさんあります。図書館大好きな3人の学生が、大学生活でよく直面する6つの場面で活用したい図書館の設備・サービスをご案内します。



### #1 必要な本は……?

#1 [Need help to find resources?]

#### レファレンスカウンター

調べるテーマは決まっているけれど、資料の探し方が分からない! そんな時は、レファレンスカウンターに相談してみよう。

Visit the Reference Desk to find out the best sources for your research and where to find them.



1階  
1F

### #2 世界の今を知りたい

#2 [Discover the world today.]

#### 新聞・新刊雑誌コーナー

100種類を超える新聞や、幅広い分野の専門誌が並ぶ空間。多角的な視野から「今」を知ろう。

Expose yourselves to more than 100 newspapers from different parts of the world and see what is happening across the globe.



1階  
1F

### #3 グループワーク!

#3 [Perfect place for group work.]

#### グループ学習室

壁には大きなホワイトボードがあり、グループプレゼンの準備にも最適!

My OPACから予約が可能。

You will find whiteboards and projectors for group projects in Group Study Rooms. Online booking is available.



地下1階  
B1



図書館HP>図書館だより  
<https://www.lib.sophia.ac.jp/toshokan-dayori>

**#5 本だけじゃない! [#5 Books are not the only resources!]** 1F Audio-Visual Corner

### AVコーナー

ビデオテープやDVD、マイクロ資料等を  
 視聴・閲覧できる。  
 利用時は貸出カウンターまで。  
 Videos, DVDs, and microform materials are here.  
 To watch one, bring the source  
 to the circulation counter and sign up.



1階  
1F



**#6 オンラインでもっと充実 [#6 Find more online.]**

### オンライン 各種データベース

電子書籍だけでなく新聞や論文も閲覧可能。  
 もちろん洋書も! 学外からアクセスする時は  
 VPN接続を忘れずに!

Sophia subscribes databases of journal articles and e-books.  
 Connect VPN (Virtual Private Network) to access off-campus.



Let's start  
電子書籍  
ebook

Online



**#4 レポートのお悩み? [#4 Need help to write your papers?]**

### 学習支援席

(ラーニングcommons内)

授業期間中の午後、大学院生に質問する  
 ことができる。レポートの困りごとを相談しよう!

Graduate students are here to answer your questions  
 regarding how to write your papers. Learning Support  
 Desk is open in the afternoon on school days.



地下1階  
B1

B1F Learning Support Desk





## あまねさん(外国語学部英語学科1年)のある一日

### あまねさんから一言

授業のために上層階の研究図書にも挑戦しました。これからも上智大学ならではの多様な言語で書かれた資料をたくさん読みたいです!(※図書館は地下1・2階には学部生向けの図書、4階から9階には各分野の研究・専門図書が配架されています。)

皆さんにも、上智大学の広い図書館をぜひ活用していただきたいです。



ラーニングcommons

### あまねさんのおすすめ

たくさん授業がある日は1日中大学にいて、図書館で課題をすることが多いです。1人のときは上層階の**研究書庫・閲覧席**、友人と一緒にのときは地下1階の**ラーニングcommons**を利用します。



## そういちさん(経済学部経済学科3年)のある一日

### そういちさんから一言

新着図書コーナーが好きです! 上智大学の蔵書はこの図書館に集約されているので、他分野でも興味を引く書籍が並んでいることがあります。そういう本に出会えたときはテンションが上がりますね。



新着図書コーナー

### そういちさんのおすすめ

金曜日午前中には、**新着図書コーナー**に新しい書籍が並ぶので、普段より早い時間から登校します。1時間ほど新着図書を吟味し、面白そうな本を片手に授業へ。放課後に時間がある日は、学術雑誌に目を通すこともあります。



## A day in the campus life of Reika (Faculty of Liberal Arts, Senior)

### Reika's message

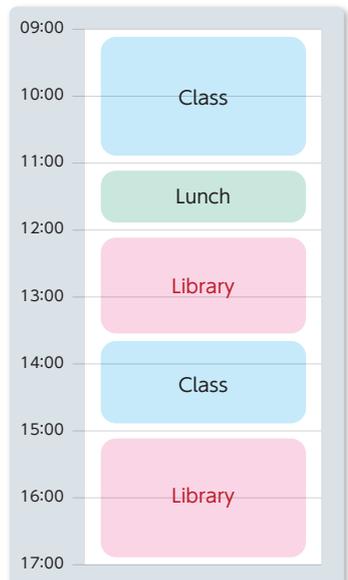
I enjoy the library the most when I encounter sources that I have never even looked for. Have some time to 'get lost' in the shelves and discover the new!



Research Books

### Recommendation of Reika

I use the library a lot especially when I have classes from the morning to the evening. Seats in the **'Research Books'** floors are quiet and perfect for studying. The library is also a place for me to find books recommended in class each day.



第2回



# 読書人カレッジのご案内

日時：2022年11月25日(金)17:20~19:20

場所：図書館地下1階ラーニングcommons

■タイトル：未定 ■対象：本学学部生・大学院生 ■定員：60名(対面)

※対面を予定していますが、新型コロナウイルスの感染状況により変更の可能性があります。  
※申込み方法等、詳細が決まりましたら図書館HP、LOYOLA等でお知らせします。



講師：増田ユリヤ氏

ジャーナリスト。27年にわたり高校で社会科を教えながら、ラジオやテレビ番組のリポーターを務め教育問題の取材を手がけた。現在は、日本と世界の様々な問題の現場を幅広く取材・執筆している。

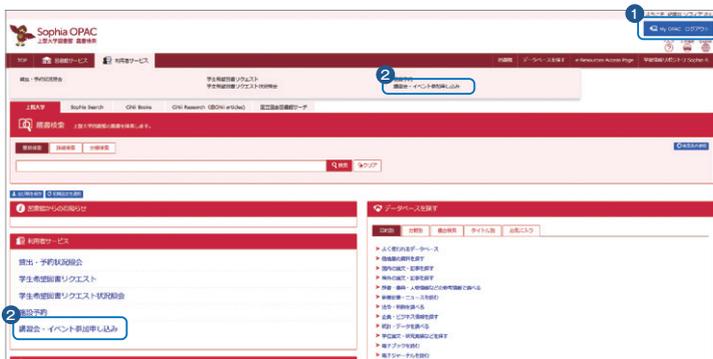
## 読書人カレッジとは？

書評専門紙「週刊読書人」を発行する読書人が、日本財団と共に、大学生に読書の楽しさや大切さを伝えるためにスタートした企画。同紙に執筆している作家や研究者らが講師となり、企画に賛同した大学に派遣される。上智大学では昨年、講師に作家の温又柔氏をお招きし、第1回目を開催した。



## 講習会予約がOPACからできるようになりました！

You can make reservations for library workshop!



① My OPACにログイン後、②『利用者サービス』の『講習会・イベント参加申し込み』をクリックする。※②はどちらも同じです。

① Please log in to "My OPAC" and ② click on "Seminar Reservation".  
\*② Both are the same.



③ 参加したい講習会の『申込』ボタンをクリックする。

Please click on "Entry" for the seminar you want to attend.

名称	和英対訳	所属
講習会・イベント参加申し込み		
申込する講習会		
タイトル	読書特別講座「読んで1レポートの書き方(実践版)」	
カテゴリ	読書特別講座	
講師の氏名	増田ユリヤ氏	
実施形態	対面+オンライン(ZOOM)	
実施時間	19:21-20:00	
対象	学部1年生、その他在学生も参加可能。	
実施日	2022.08.08	
申し込み期間	2022.07.08 - 2022.08.07	
内容	読書特別講座「読んで1レポートの書き方(実践版)」講師：青山学院大学アカデミックライティングセンター助教小林藍菜先生	
定員	50名	
募集時期	10000	
申込内容		
参加日	2022	
時間	2022	
メールアドレス	libinfo@sophia.ac.jp	
学年等(4文字以内、例:1年生、院2年、院3期、特)	2022	

申込みフォームが表示されるので、必要事項を入力して申し込んでください。

The seminar reservation entry will be displayed, so please fill in the required information to apply.



# 図書選定委員お薦めの本

総合グローバル学部教授 根本 敬



## 『銃・病原菌・鉄－1万3000年にわたる人類史の謎』

[全2巻、ジャレド・ダイヤモンド(著)、倉骨彰(訳)、2000年、草思社]

学部図書 地下1階 204 : D713 : v.1-2



歴史学はここ数十年、グローバル・ヒストリーを志向している。事件や人名や年代を「天から降ってきたように」覚えるのが歴史学なのではない。ほかの学問と同様、歴史学も「問い」を発することから始まる。その「問い」は人類の過去に向けられる。グローバル・ヒストリーの場合、対象とする過去の時間をできる限り長くとり、人類が活動した範囲も国民国家や一定地域に限定せず、横につなげて比較考察するところに特徴がある。

その醍醐味を十分に味わうことができるのが本書である。原書(英文)が出版されたのは1997年、翌1998年度のピューリッツァー賞(一般ノンフィクション部門)受賞を経て、世界中の人々に読み継がれてきた。扱う時間のスパンたるや、農耕が始まってから20世紀末までの1万3000年にわたる。その間の人類の歴史(=地球全体を範囲とする歴史)を著者は2つの個性的な「問い」に基づいて考察する。

「アメリカ大陸の先住民は16世紀にユーラシア大陸からやってきた住民(スペイン人)に征服されたが、なぜその逆は起こらなかったのか」

「人類の歴史において侵略と淘汰が幾度も繰り返されたなか、歴史における勝者と敗者を分けた決定的要因は何だったのか」

歴史学者が通常設定しないようなこのメガ級の「問い」は、著者が人種に基づく能力差が文明の優劣を生んだという考え方に強い疑念を抱いたために発せられたものである。スペイン人がアメリカ大陸の先住民より「もともと」優れていたから彼らを征服できたのではなく、アメリカ大陸とユーラシア大陸それぞれの基本設定としての「環境上の決定的な違い」が、長い時間

を経て、後者に「優れた」文明を生み出させることになったという仮説をたて、そのことの論証を本書で展開したのである。

著者は人類の歴史が大陸ごとに異なる経路をたどった根本要因に注目し、その際、文明が成立した世界の諸地域における自然環境の特徴に焦点を合わせた。そのうえでそこに居住した人々の環境への働きかけを比較した。考察を深めるために著者は本来の専門である生理学と進化生物学に加え、遺伝子学、環境地理学、生物地理学、考古学、人類学、言語学も縦横無尽に活用している。

本書では最終的に「人類の長い歴史が大陸ごとに異なるのは、それぞれの大陸の環境が異なっていたからであり、それぞれの大陸に居住した人々が生まれつきの優劣で異なっていたからではない」と結論づける。更新世後期(12万6000年前から1万1700年前の地質時代)に、もしオーストラリア先住民とユーラシア大陸の先住民がそれぞれ居住地域を入れ替えていれば、現代のユーラシア大陸、南北アメリカ大陸、そしてオーストラリア大陸の人口の大半は、オーストラリア先住民の子孫で占められていただろうし、オーストラリア大陸ではユーラシア大陸の先住民の子孫が少数民族になって暮らしていただろうと、きわめて大胆なことまで語る。

「歴史が民族によって異なる経緯をたどったのは、人々が置かれた自然環境と居住環境の差異によるものであって、民族や人種のあいだの先天的な生物学的差異によるものではない」一彼の最終的解答はこの一言に尽きよう。そこに至るまでの分析で、膨大な事例と多角的な科学分析を活用した著者は、まさに「文理クロスオーバー型」の研究者だといえる。本学のどの学部にも属していても、本書は読み始めたら止まらなくなる内容に満ちている。卒業までにぜひ読んでほしい。



叡智が世界をつなぐ



上智大学  
SOPHIA UNIVERSITY

上智大学図書館だより No.36

発行所 上智大学図書館  
〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 TEL:03-3238-3510 FAX:03-3238-3139  
発行日 2022年10月1日  
制作 株式会社スリーライト TEL:03-5640-5430